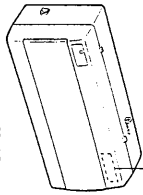


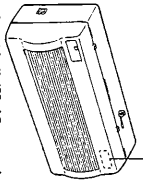
MITSUBISHI
三菱換気空清機 **クリッロスナイ** (J-Fry)
壁掛 1パイプ取付ロスナイ

〈排湿タイプ〉
形 名
VL-08JPSA
(温度センサー付自動運転、
24時間換気タイプ) ※1



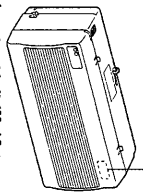
形名表示位置

〈ロスナイ換気タイプ 寒冷地仕様〉
形 名
VL-08JS
(24時間換気タイプ)



形名表示位置

〈急速排気付タイプ 標準寒冷地仕様〉
形 名
VL-12JSRH
(ワイヤレスリモコン、
24時間換気タイプ)



形名表示位置

取扱説明書 お客さま用

※1を本書では「自動運転タイプ」と略します。

この製品は、よこ取付けとたて取付けの場合がありますが、よこ取付けを中心に説明しています。

お客さま自身では取付けけないでください。(安全や機能の確保ができません)

室内の空気環境を維持するため、24時間連続換気でお使いください。

●正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに同梱の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

もくじ

使うまえ

安全のために必ず守ること	2
特長	4
各部のなまえとはたらき	5
使用前の準備	6

ページ

使いかた

運転のしかた	7
・VL-08JPSA、VL-08JS	7
・VL-12JSRH	8
・自動運転について	9
・寒いとき運転について	10

こんなとき

お手入れのしかた	11
「故障かな？」と思ったら	15
アフターサービス	16
仕 様	16

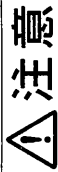
安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

警告

可燃性ガスが漏れた場合はロスナイのスイッチを入・切しない 電気接点の火花により爆発する原因。 窓を開けて換気してください	この製品は計量法に基づく計測器ではありませんので、酸欠防止や可燃性ガスなどの検知装置として使用しない (VL-08JPSAのみ) 室内が酸欠状態になったり、火災の原因。 改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。	電源プラグは、がたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む 差し込みがゆるいと感電や火災の原因。 お手入れの際は、必ず主電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いて行う、またぬれた手で電源プラグを抜き差ししない感電やけがの原因。 異常時 (こげ臭い等) は、運転を停止して分電盤ブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因。 お買い上げの販売店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご相談ください。
交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると感電の原因。 電源プラグについていたほこりは清掃する (電源プラグ付の場合) 漏電・火災の原因。	製品を水につけたり、水をかけたりしない 火災や感電の原因。	外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認する 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります。



指示に従う

使うまえ

注意

ロスナイの風が直接あたるところに 燃焼機器を置かない 不完全燃焼による事故の原因。 高温や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しない 火災の原因。	運転中は、本体内部で羽根が回っているため、物を入れない けがの原因。 感度調節をするとき羽根に触らない (VL-08JPSAのみ) けがの原因。
--	---



注意



接触禁止

弊

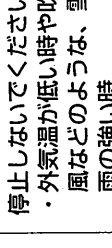
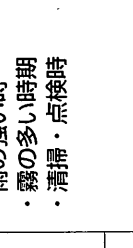
	天井に取付けない	落下によりけがの原因。	お手入れの際は手袋を着用して行う 着用しないといけないことがあります。
	浴室使用禁止	浴室など湿気の多いところでは使用しない 感電および故障の原因。	お手入れ後の部品の取付けは確実に 行う 落下によりけがをすることがあります。
	専用システム部材の室外フードを取付ける	雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因。	長期間使用しないときは、必ず分電盤ブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。
	指示に従う	指示に従う	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く（電源プラグ付の場合） 感電やショート・発火の原因。

・天井に取付けられないか。

○

・屋外には室外フードが取り付けられているか。

×

製品のまわりに物を置かない。  30mm以上 50mm以上 100mm以上 100mm以上 VL-08JPSA VL-08(S) VL-12JSRH VL-12JSRH	スプレー（殺虫用・整髪用・掃除用）を直接かけない。 	下記のよう場合以外、運転を停止しないでください。 ・外気温が低い時や吹雪や台風などのような、雪や風、雨の強い時 ・霧の多い時期 ・清掃・点検時
可動パネルを押したり、たたいたりしない(VL-08JPSA) 	パネルをふさがない 	パネルが変質、破損する原因になります。
可動パネルを押したり、たたいたりしない(VL-08JPSA) 	十分な換気ができません。	可動パネルが正常に動作しません。

※VL-08JPSAIは外気温が約-10～-20℃のとき「寒いとき運転」を行ってください。¹⁰⁾

※VL-08JPSAは外気温が約-10~-20℃のとき「寒いとき運転」を行ってください。

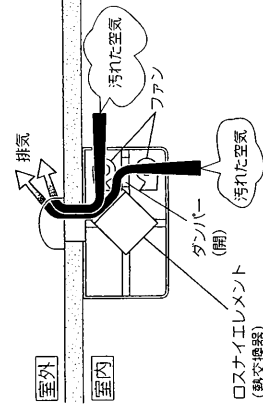
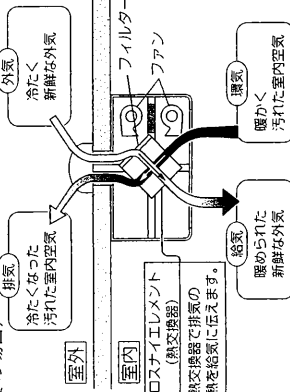
A black and white illustration showing a person with a smiling face looking out from a window. The window is set into a brick wall. In the foreground, there is a large, solid black circle. The person's hands are visible near the window frame. The overall style is simple and cartoonish.

徳川幕府

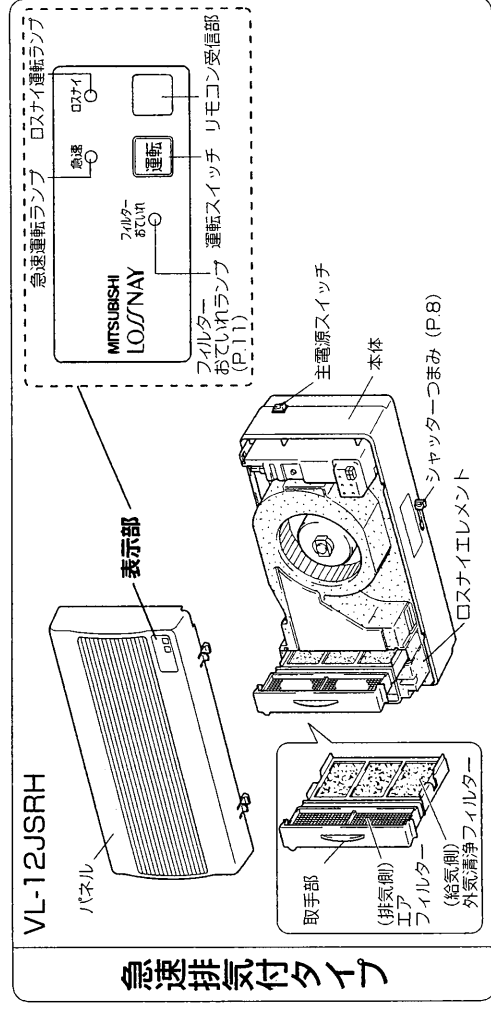
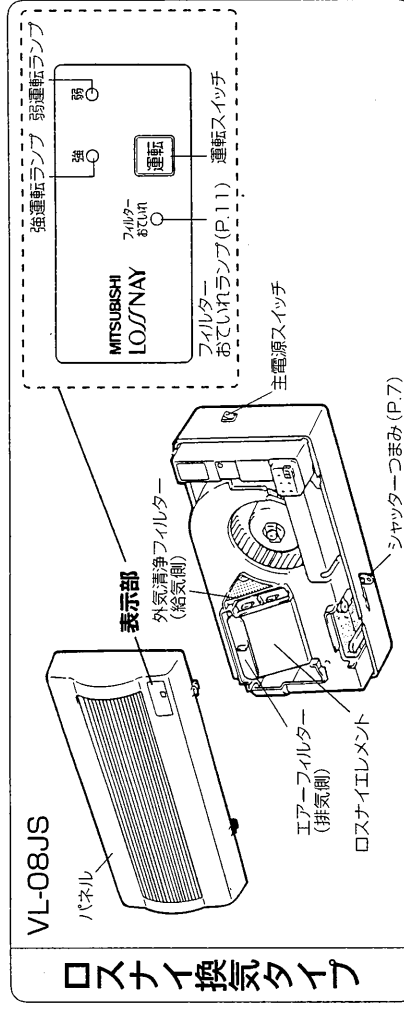
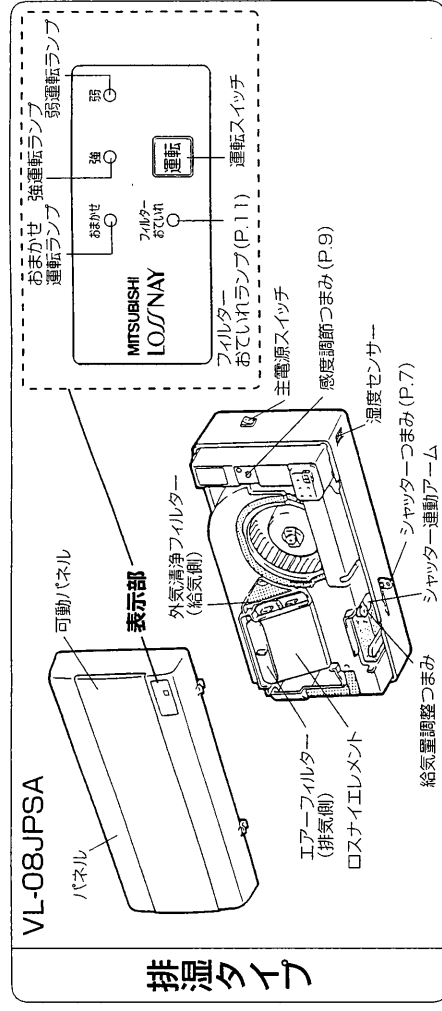
排湿タイプ VL-08JPSPA	熱交換換気を出しながら、湿気を出す機能が強化されたタイプです。 寒い地方の冬では、室内に湿気がたまりやすいので、このタイプが向いています。 ※梅雨時の除湿には使えません。	ロスナイ換気タイプ VL-08JS 熱交換換気をする標準的なタイプです。	急速排気付タイプ VL-12JSRH 熱交換換気と急速排気機能を合せ持つタイプです。 「急速」運転時は「ロスナイ」運転時よりも排気風量を増やして、汚れた空気を排出します。 ◆お部屋の空気が汚れている（喫煙等）と感じたとき、一時的に「急速」運転をしてみてください。 （熱交換換気は行ないません。）
---	--	--	--

「急速」運転イメージ

(例：冬の場合)



各部のなまえとはたらき



各部のなまえ

■ フィルターについて

	VL-08JPSA, VL-08JS	VL-12JSRH		特 長
エアフィルター			排気側	内部部品が目づまりを防止するためのフィルターです。
外気清浄フィルター	 (交換用: P-08JF)			外気に含まれる粉じん、砂じん、花粉など、10μm (0.01mm) 以上の粒子を約80% (質量法) 取り除いて、きれいな空気を室内へ取り入れます。 ※一部小さな粒子や虫などが通過する場合があります。より捕集効率を高めるためには、高性能除じんフィルターの使用をお勧めします。

外気清浄フィルタは、下記のシステム部材（別売品）に取り替えることができます。

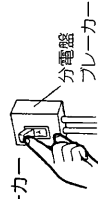
お求めの場合は、必ず「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口（または）」までお問合せください。

システム部材 (別売品)

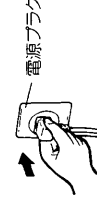
			特 長
高性能除じんフィルター	VL-08JPSA, VL-08JS	 (P-70H-F2)	VL-12JSRH  (P-140H-F2)
NOx吸収フィルター		 (P-70N-F2)	給気側  (P-140N-F2)

使用前の準備

1.電源を入れる

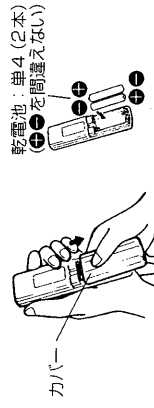


②電源プラグをコンセントに差し込む。
(電源プラグがない場合もありま)



2.リモコンの準備

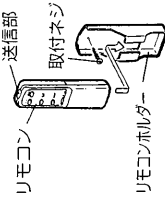
裏側のカバーをはずし、リモコンに乾電池を入れる。



リモコンホルダーの取付かた

リモコンホルダーを取付ネジで固定します。

* 壁などに取付ける場合は、操作できる位置を確かめて取付けてください。



6

お願い

- リモコンが動作しなくなったり、信号が届きにくくなった場合は、新しい乾電池と交換してください。
- 交換する乾電池は必ず本ととも新しい、同じ種類のものをお使いください。
- 充電式乾電池は使用しないでください。
- 乾電池の漏液による故障をさけるため、長期間使用しない場合は、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が古くなったり、電子点灯式の蛍光灯（インバータ蛍光灯など）の近くでは、範囲が狭くなる場合があります。リモコンの使える範囲は画線で約4mです。
- 電子点灯方式の蛍光灯（ICインバータ蛍光灯など）の近くや、直射日光などの強い光のあたった場所に設置すると、ワイヤレスリモコンの信号を受けつけにくくなる場合があります。

運転のしかた

運転中にパネルの取付けは、絶対に行わないでください。〈VL-08JP5A〉

(給気量調整つまみ [5] が破損する場合があります。)

(パネルを取りつける際は、シャッターつまみを「とじる」の位置にしてから取りつけてください。)

* VL-08JP5Aの自動運転、感度調節のしかたについては [9]

* VL-08JP5Aの「寒いとき運転」のしかたについては [10]

運転のしかた

※図はよこ取付けを示します。たて取付けの場合は左右が上下の方向になります。

VL-08JP5A, VL-08JSの場合

運転をする

1. シャッターを開く

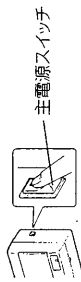
シャッターつまみについているつまみを押さえながら、シャッターつまみを「ひらく」の位置まで動かします。

お願い

- シャッターつまみを途中で止めないでください。

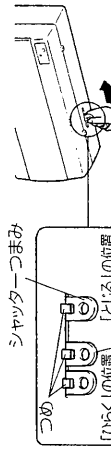
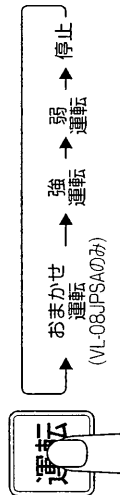
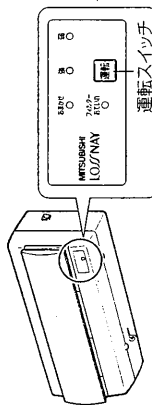
2. 主電源スイッチを「入」にする

運転を開始します。



風量を切換える／停止する

本体表示部の運転スイッチで運転操作をしてください。運転スイッチを押すたびに以下のように切換わります。



「寒いとき」運転 [10] 時、ひらくの位置 (VL-08JP5Aのみ)

お願い

- シャッターつまみが「とじる」の位置で運転すると換気をしません。必ず「ひらく」の位置にしてください。
- 「寒いとき運転」の必要がなくなるときは、給気量調整つまみを元に戻してください。(VL-08JP5Aのみ)

メモ

- 新築でもない住宅または観葉植物を多く置いている住宅などでは、冬期 (特に外気温度が低くなるとき)、パネルの表面に結露することがありますが故障ではありません。パネル表面の水滴をふきとってください。

お願い

- 下記の場合以外、運転を停止しないでください。
 - ・外気温が低い時や吹雪や台風などのような、雪や風、雨の強い時
 - ・霧の多い時期
 - ・清掃・点検時

運転のしかた つづき

VL-12JSRHの場合

1. シャッターを開く

シャッターつまみのツメを押さえながら「ひらく」の位置まで動かす。

お願い

- シャッターつまみを途中で止めないでください。

2. 主電源スイッチを「入」にする

運転を開始します。

3. リモコンを操作する

運転／停止をする

お願い

- 下記の場合以外、運転を停止しないでください。
 - ・外気温が低い時や吹雪や台風などのような、雪や風、雨の強い時
 - ・霧の多い時期
 - ・清掃・点検時

入／切ボタンを押す

- 押すたびに「切」→「入」→「切」と切り替わります。
- 入／切ボタンを「切」にすると停止します。再び入／切ボタンを「入」にすると、停止前のモードで運転します。

「急速」運転をする

急速ボタンを押す

本体の「急速運転ランプ」点灯。「急速」運転とは… [4]

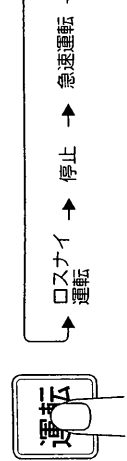
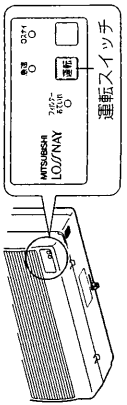
「ロスナイ」運転をする

ロスナイボタンを押す

本体の「ロスナイ運転ランプ」点灯。「ロスナイ」運転とは… [4]

「リモコンが使えないとき」

乾電池切れなどでリモコンが使えないときは、本体の運転スイッチで運転操作をしてください。運転スイッチを押すたびに下図のように切換わります。



運転のしかた つづき

運転中にパネルの取付けは、絶対に行わないでください。
(VL-08JP-SA)
(給気量調整つまみ [5] が破損する場合があります。
パネルを取りつける際は、シャッターつまみを「とじる」
の位置にしてから取りつけてください。

寒いとき運転について (VL-08JP-SAのみ)

給気量調整つまみで給気 (冷たい外気) 量をおさえる運転です。
寒い地方で冬期に外気温が低くなり (-10~-20℃)、取り入れた空気が寒く感じたり、結露により、製品本体から水滴が落ちる場合に一時的に行います。

- ▲注意
- お手入れの際は手袋を着用する (着用しないときががあります)
 - お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わない (けがの原因になります)

1.電源を切る

主電源スイッチを「切」にする。電源プラグ付の場合は電源プラグをコンセントから抜く。

2.シャッターつまみを「とじる」の位置にする

3.パネルをはずす

くよこ取付けの場合

1. つめを押えながら (①) 上に引きあげる。(②)
2. 左側の突起をはずして (③) パネルをはずす。

メモ

- パネルが落ちないように左側で一旦引掛かるようになっています。

くたて取付けの場合

1. つめを押えながら (①) 右側に開ける。(②)
2. 上側の突起をはずし (③) パネルをはずす。

メモ

- パネルが落ちないように上側で一旦引掛かるようになっています。

4.給気量調整つまみを「寒いとき」に切り換える

右図のように給気量調整つまみをたおす。

5.パネルを元通りに取り付ける [12]

6.シャッターつまみを左側へ動かす

給気量調整つまみが「寒いとき」になっているときは、シャッターつまみを左に動かすと、「寒いとき運転」時、開の位置) で止まります。

7.電源を入れる

電源プラグ付の場合は電源プラグをコンセントに差し込む。
主電源スイッチを「入」にする。

メモ

- 給気量調整つまみを「寒いとき」に切換えないと、シャッターつまみを「寒いとき運転」時、開の位置) にしても可動パネルが開きません。

お願い

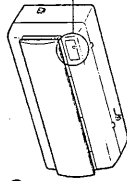
- 「寒いとき運転」の必要がなくなったらときは、給気量調整つまみを元に戻してください。

自動「おまかせ」運転について (VL-08JP-SA)

- 湿度センサーが部屋の湿度を感知して自動的に「強」運転をします。
- 湿度が低下してくると弱運転に自動的に切り換わります。

「おまかせ」運転をする

運転ボタンを押す。
おまかせ運転にする



運転内容と本体の運転ランプについて

	おまかせ運転 ランプ	強運転 ランプ	弱運転 ランプ
湿度を感知したとき	☆	☆	○
常時運転中	☆	○	☆

メモ

- 弱運転から強運転に切り換わった直後の30分間は湿度の変化に関係なく強制的に強運転します。



「感度調節」をする

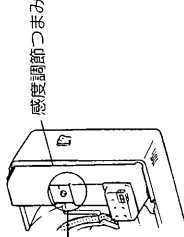
感度調節の際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。
部屋の広さや条件によって、センサーの感度を調節してください。

- 1.主電源スイッチを「切」にする
- 2.シャッターつまみを「とじる」の位置にする
- 3.パネルをはずす [11]
- 4.感度調節つまみを回す

こんなときは	このようにしてください
なかなか強運転しない場合	高感度側へまわす 感度調節つまみ
すぐに強運転する場合、またはなかなか弱運転に切換わらない場合	感度調節つまみを低感度側へまわす

5.パネルを元通り取り付ける [12]

- 6.シャッターつまみを「ひらく」の位置にする
- 7.主電源スイッチを「入」にする



メモ

- 感度調節つまみは「高」⇔「低」の間のどの位置に止めてもかまいません。一度の調節で部屋の条件に合う調節ができないときは、感度調節つまみの位置を少しずつ変えて調節してください。
- 感度調節の範囲は相対湿度で約20~70%です。

お願い

- 自動運転は室内に障壁物がなく、室内無風の条件で正常に動作するよう設定されています。以下のような場合にはお客様の希望どおりに動作しない場合があります。
 - ・他の換気扇を回したとき
 - ・扇風機や冷暖房機などの強い風を直接ロスナイに当てたとき
 - ・風の強い日
- 通常の状態に戻ればセンサーは適確な動作をします。

使いかた
使いかた

お手入れのしかた

ロスナイの機能を長く維持していただくために、外気清浄フィルター・エアフィルターに付着したごみ、ほこりを3か月に1回以上清掃してください。(ロスナイエレメントの清掃は不要です。)

製品本体にフィルターお手入れランプがあります。積算運転時間が2500時間になるとランプが点灯し、清掃時期をお知らせします。主電源スイッチを切ると積算運転時間がリセットされます。(フィルターランプは消灯します。)

③③③情報

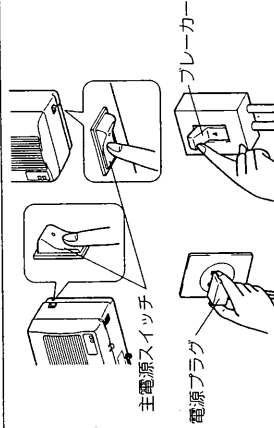
- フィルターお手入れランプについて
フィルターお手入れランプは、清掃時期の目安です。ランプが点灯していても、お客さまの使用条件に合わせてごみに清掃してください。

- △警告**
- お手入れの際は、必ず主電源スイッチを切るか、分電盤ブレーカーを切ってから行う。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししない(感電やけがをすることがあります)
- △注意**
- お手入れの際は手袋を着用する(着用しないといけがをすることがあります)
 - お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わない(けがの原因になります)

フィルターの取出しと清掃

1. 電源を切る

1. 主電源スイッチを「切」にする。
分電盤ブレーカーを切るか、電源プラグ付の場合は、電源プラグをコンセントから抜く。
2. シャッターつまみを「とじる」の位置にする。



2. パネルをはずす

〈よこ取付けの場合〉

1. つめを押さえながら①上に引きあげる。②
2. 左側の突起をはずして③パネルをはずす。

メモ

- パネルが落ちないように左側で一旦引掛かるようになっていきます。

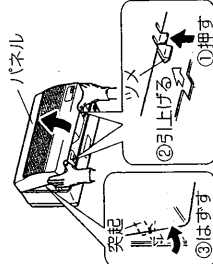
〈たて取付けの場合〉

1. つめを押さえながら①右側に開ける。②
2. 上側の突起をはずして③パネルをはずす。

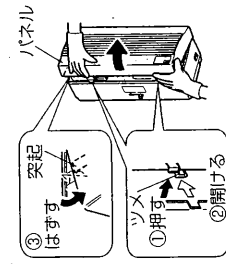
メモ

- パネルが落ちないように上側で一旦引掛かるようになっていきます。

よこ取付けの場合



たて取付けの場合



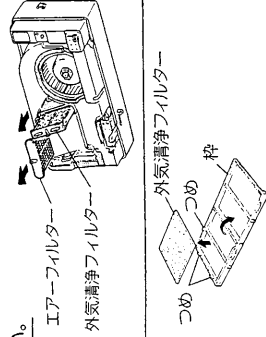
お手入れのしかた つづき

VL-08JPSA, VL-08JSの場合 (VL-12JSRHは 13)

「1. 電源を切る」、「2. パネルをはずす」はP.11を参照してください。

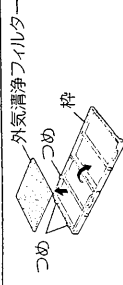
3. フィルターをはずす

- エアフィルターを引き出す。
- 外気清浄フィルターを引き出す。



4. 外気清浄フィルターを枠から取りはずす

1. 3か所のツメ部分を開ける。
2. 外気清浄フィルターを取り出す。



5. 各フィルターを清掃/交換する

●外気清浄フィルターの清掃

清掃：掃除機でほこりを吸いとり、中性洗剤を入れた水かぬるま湯で、押し洗います。その後、よく乾かして水気を取る。

交換：水洗い回数5～6回を目安にシステム部材 (P-08JF) と交換する。

●エアフィルターの清掃

1. 軽く手でたたくか、掃除機でほこりを吸いとる。
2. 汚れた場合は、水またはぬるま湯で洗い流して十分に乾かす。

メモ

- フィルターに緑込まれているカチキン成分が日光等に反応し、赤みがかかることがありますが、品質・性能面に変わりはありません。

③③③情報

- 高性能除じんフィルター (別売P-70HF2) への取替え、またはNOx吸収フィルター (別売P-70NF2) の後付けができます。[6]
- 熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 火にあぶることは絶対に行わないでください。
- 別売の高性能除じんフィルターおよびNOx吸収フィルターをお使いの場合は、それに同梱の取扱説明書に従って清掃をしてください。

6. お手入れ後の組立てと確認

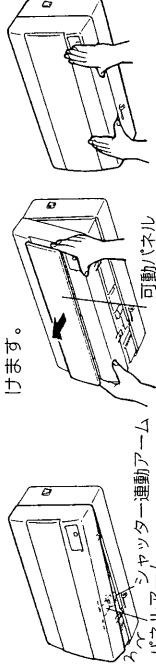
1. 外気清浄フィルターを取付ける。
●フィルター枠に納め、フィルター枠を閉じて本体に取付けます。
2. エアフィルターを取付ける。
3. パネルを取付ける。
シャッターつまみを「とじる」の位置にする。

〈よこ取付けの場合〉…上側を引掛け、下側を押さえてはめ込む。

〈たて取付けの場合〉…右側を引掛け、左側を押さえてはめ込む。

メモ 〈VL-08JPSAのみ〉

パネルアームとシャッター 1. 可動パネルを少し持ち上げ、パネルアームを移動させて取付けます。



4. 電源プラグについたほこりを清掃する。(電源プラグ付の場合)。

お手入れのしかた っづき

6. お手入れ後の組立てと確認

1. フィルター枠を取付ける。
(1) フィルター枠に外気清浄フィルターを納め (①)、枠を閉じる。(②)
(2) フィルター枠を本体に取付ける。(③)
※必ず押さえた2ヶ所で引掛けるようにしてください。

※ フィルター枠を取付ける際には方向性があります。
右図のように本体にあるフィルター位置の刻印と、フィルターの突起とが合うようにフィルターを入れてください。

2. パネルを取付ける。

くよこ取付けの場合

- 上側を引掛け、下側を押さえてはめ込む。

くたて取付けの場合

- 右側を引掛け、左側を押さえてはめ込む。

3. 電源プラグについたほこりを清掃する。(電源プラグ付の場合)。

4. 電源を入れる。[8]

5. 組立てが終わりましたら、次の確認をする。

- (1) 本体・パネルが確実に取付けられていますか？
- (2) 異常な音が出ていませんか？
- (3) 風は正常に出ていますか？
(必ず運転をして確認してください)

△ 注意 ● お手入れ後の部品の取付けは確実に行う。
(落下によりけがをすることがあります)

パネル・本体の清掃のしかた

- パネル・本体が汚れてきたら、中性洗剤を入れたため湯に浸した布で拭き取る。
※ 洗剤が残らないようきれいな布で拭き取る。

お願い

- お手入れに下記の溶剤などを使用すると変質・変色する原因になります。
(シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤)
- VL-08JPSAのセンサー部分には針金などを差し込まないでください。
(センサー故障の原因になります)

こんなとき

こんなとき

5. 電源を入れる。[7]

6. 組立てが終わりましたら、次の確認をする。
(1) 本体・パネルが確実に取付けられていますか？
(2) 異常な音が出ていませんか？
(3) 風は正常に出ていますか？
(必ず運転をして確認してください)

△ 注意 ● お手入れ後の部品の取付けは確実に行う。
(落下によりけがをすることがあります)

VL-12JSRHの場合 (VL-08JPSA・VL-08JUSは [12])

[1. 電源を切る]、[2. パネルをはさず]は P. 11 を参照してください。

3. フィルター枠を引き出す

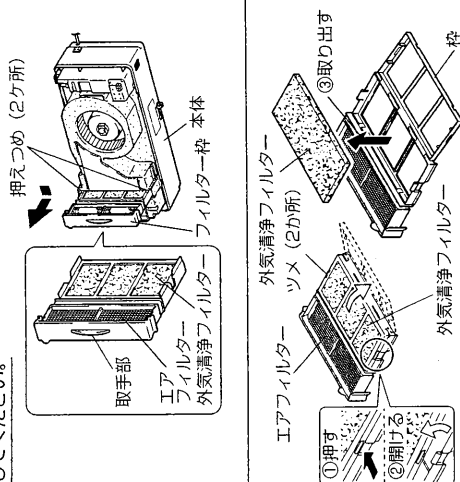
フィルター枠を左側 (タテ取付の時は上側) にずらし、ロスタイプの押さえた2ヶ所から外して手前に引き出す。

メモ

- 風もれを防止するため、押さえた2ヶ所で引掛けるようになっています。

4. 外気清浄フィルターを枠から取り出す

1. 2カ所のツメ部分を押し (①) 枠を開ける。(②)
2. 外気清浄フィルターを取り出す。(③)



5. 各フィルターを清掃/交換する

● 外気清浄フィルターの清掃

清掃: 掃除機でほこりを吸いとり、中性洗剤を入れた水かぬるま湯で、押し流す。その後、よく乾かして水気を取る。
交換: 水洗い回数5~6回を目安にシステム部材 (P-08JF) と交換する。

● エアフィルターの清掃

清掃: 1. 軽く手でたたき、掃除機でほこりを吸い取る。
2. 軽めのひどい場合は、水またはぬるま湯で洗い流して十分に乾かす。

メモ

- フィルターに絡み付いているカチン成分が日光等に反応し、赤みがかかることがありますが、品質・性能面に変わりはありません。

情報

- 高性能除じんフィルター (別売 P-140HF2)
- 高性能除じんフィルター (別売 P-140HF2) への取替え、または NOx 吸収フィルター (別売 P-140NF2) の後付けができます。[6]

お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 火にあぶることは絶対に行わないでください。
- 別売の高性能除じんフィルターおよび NOx 吸収フィルターをお使いの場合は、それに同梱の取扱説明書に従って清掃をしてください。

「故障かな？」と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検しても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切るか、電源プラグを抜いてからお買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検します
運転しない	本体へ通電されていますか？	●電源プラグを点検します (電源プラグ付の場合) ●ブレーカーを点検します ●主電源スイッチを「入」にします ●停電ではありませんか？
	感度調節は適切ですか？ (VL-08JPSPA)	感度調節つまみを高感度側へ回します
可動パネルが閉まらない (VL-08JPSPA)	パネルアームとシャッター運動アームが当たっていませんか？	取付け直します
フィルターおていれランプが点灯する	清掃時期をお知らせしています	清掃します
音がする	パネル、フィルターがしっかり取付けられていますか？	取付け直します
	フィルターが目づまりしていませんか？	清掃します
	「急速」「ロスナイ」運転の切換動作音です。	故障ではありません
リモコンで操作できない (VL-12JSRH)	乾電池が古くなっていませんか？ 距離が遠すぎませんか？ 乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか？ 電光灯や電射日光の影響を受けていませんか？	乾電池を新しいものに換えます 受信するところまで移動します 正しく入れ直します 受信するところまで移動します
給気が寒く感じる (VL-08JPSPA)	外気温が低下していませんか？	「寒いとき運転」にする
風が少なくなったら	フィルターが目づまりしていませんか？	清掃します
小さな虫が侵入する	一部小さな粒子や虫などが通過する場合があります。	より捕集効率を高めるためには、高性能除じんフィルターをお買い求めください。
「おまかせ」・「強」・「弱」のランプが2つまたは3つ点滅する (VL-08JPSPA)	センサーの故障です	お買上げの販売店に修理依頼をします (「おまかせ運転」以外の運転はできません)
「急速」時、吹出口から風を感じる (VL-12JSRH)	排気を効果的に行なうため、排気の一部が室内側へ吹き出します。	故障ではありません
運転が止まらない (VL-08JPSPA)	24時間換気対応機種のため	故障ではありません

こんなとき

アフターサービス

三菱換気空清機 **三菱ロスナイ** のアフターサービスは、お買上げの販売店がお近くの「三菱電機 修理窓口」・ご相談窓口のご案内」にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間 ●ロスナイは換気扇に準じます。
当社はこの換気扇の補修用性能部を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

形 名	電 圧 (V)	周波数 (Hz)	ノッチ	消費電力 (W)	風 量 (m ³ /h) 排気 結露	運転効率 (%)	騒 音 (dB)	質 量 (kg)
VL-08JPSPA	100	50	強	22	44	38	70	34
			24時間換気 (弱)	11	26	21	74	24
			強	23	44	38	70	34.5
VL-08JUS	100	50	24時間換気 (弱)	11	25	20	74	23
			24時間換気 (強)	14.5	25	24	76	18
			24時間換気 (弱)	10	17	16	76	24
			24時間換気 (強)	14	27	25	76	19
			急速	10	18	17	76	—
VL-12JSRH	100	50	24時間換気 (ロスナイ)	30.5	140	—	—	40.5
		60	急速	12.5	39	33	76	26
			24時間換気 (ロスナイ)	33	140	—	—	41.5
			急速	13	36	31	76	25

*上記値は、JIS規格 (JIS C9603) に基づいて測定した値です。特に騒音値は、お部屋の構造によって上記値より高くなる場合があります。

☆長年ご使用のロスナイの点検を！

愛情点検

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

●スイッチを入れても運転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●こげ臭いにおいが出る。
●回転が遅い、または不規則。
(モータはメンテナンスが必要な部品です)

使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様
メモ

お客様を依頼される
サービスをご利用の際は、
お買上げ年月日
お買上げ店名
(住所)
(電話番号)

形 名

お買上げ年月日
年 月 日

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料にISO) ()
(規定の略号を使用)



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、
両面使用を
しています。